令和2年度第3回佐渡市地域自立支援協議会 議事録

日時·場所	日時: 令和2年12月23日(水)午後1時30分~午後2時30分 会場: 新穂行政サービスセンター2階 第2・第3学習室						
議題	 1 開会 2 議題 (1)第6期佐渡市障がい福祉計画・第2期佐渡市障がい児福祉計画について(素案検討) 3 その他 4 閉会 						
会議の公開・非公開	公開						
	(1) 医療機関を代表する者 ・佐渡総合病院 ・真野みずほ病院	副院長 事務長		実(欠席) 一也			
	(2)障害福祉サービス事業所を代表するる・社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会・社会福祉法人佐渡福祉会・社会福祉法人しあわせ福祉会・社会福祉法人とき福祉会・社会福祉法人佐渡国仲福祉会	者 事務局長 理事長 常務理事 理事長 理事長	彈正 山田元章 山田	寅雄 校一 : 代理出席) 秀夫 正義 攻			
参加者	(3)関係行政機関の職員・新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部・佐渡市教育委員会(4)市長が必要と認める者	部長 教育長	儀同 渡邉	政宏 尚人			
	 ・佐渡市手をつなぐ育成会 ・佐渡地域精神障害者家族連合会 ・佐渡市民生委員児童委員協議会 ・佐渡連合商工会 ・佐渡市身体障がい者福祉協議会 ・佐渡公共職業安定所 ・新潟県立佐渡特別支援学校 ・佐渡市障がい者相談員 	会会理副会所校代出長長事会長長長長病	山白村山刀齋信本井川城根藤田	美惠子 是美代(灰原) 一雄(欠席) 一雄(欠病) 一雄(欠病) 一雄(次病) 千賀(次病) 高(5名)			

		X 1.	.6. 11				
総合企画部員	· 佐渡地域振興局 健康福祉環境部	主査	武井	珠美			
	・相談支援事業所 こもれび	相談支援専門員	石山	道博			
	・相談支援事業所 はまなすの家	相談支援専門員	原田	恭子			
	・障がい者就業・生活支援センターあてび	管理者	石川	和順			
	・相談支援事業所 さど	相談支援専門員	金子	奈津美			
	・新潟県新星学園	学園長	田代	健一			
	・相談支援センター そらうみ	相談支援専門員	本間	奈美			
	・相談支援事業所 愛らんど	相談支援専門員	渡邊	弘行			
	新潟県立佐渡特別支援学校	進路指導主事	堀端	嘉彦			
	・子ども若者相談センター	保育支援専門員	齋藤	朋子			
	計10:						
	• 社会福祉課	課長	市橋	法子			
事務局		課長補佐	知本	政則			
		障がい福祉係長	堀	資多可			
		社会福祉士	牧野	未来			
		精神保健福祉士	塚本	あすか			
				計5名			
	· 令和 2 年度第 3 回佐渡市地域自立支援協議会会議次第						
資料	・第6期佐渡市障がい福祉計画・第2期佐渡市障がい児福祉計画(素案)原稿						
	・同一訂正表						
	・資料1:第6期佐渡市障がい福祉計画・第2期佐渡市障がい児福祉計画						
	(素案)原稿 意見・要望						
	・資料2:第6期佐渡市障がい福祉計画・第2期佐渡市障がい児福祉計画						
	(素案)原稿 意見・要望 別紙						
	・資料3:パブリックコメント募集要領(案)						
	・資料4:障がい福祉計画等表紙イラスト募集チラシ						
	1. 開会						
	[事務局進行]						
	<配布資料の確認>						
	<座長に議事進行依頼>						
	<座長よりあいさつ>						
進行及び							
協議内容	[座長進行][事務局内容説明]						
	2. 議題						
	(1) 第6期佐渡市障がい福祉計画・第2期佐渡市障がい児福祉計画						
	について(素案検討)						

<事務局より説明>

- ・全体構成は、前計画である第5期障がい福祉計画・第1期佐渡市障がい児 福祉計画を踏襲しています。
- ・主な数値目標及びサービスの見込量
 - ≪施設入所者の地域生活への移行及び削減≫

国の基本指針では、移行者 6% (8 人)以上、削減者 1.6% (2 人)でありますが、本市は、施設入所待機者が多くおり、施設入所を望む声があることなどの地域の実情等を踏まえ、地域生活移行に係る施設入所者の削減数は 0 人とし、グループホームの整備を促進することで移行者数 1 人を目標とします。

≪就労系サービス(就労支援移行就労継続支援 A 型 B 型) ≫ 令和 5 年度までに就労継続支援 B 型 10 人、就労継続支援 A 型で 5 人の利用者増を見込みます。

- ≪共同生活援助 (グループホーム) ≫ 令和 5 年度までに 6 人の利用者増を見込みます。
- ≪放課後等デイサービス≫ 令和3年度中に10人の利用者増を見込みます。
- ・資料1及び資料2により、参加者から事前にいただいた意見について 事務局の見解を説明。
- ・事務局から身体障害者手帳交付状況に年齢別の表の追加記載を提案。
- ・今後、パブリックコメントを実施し、2月下旬頃に第4回の協議会を開催 を予定しています。

<質疑・意見> 意見なし

・山本座長

「この後、パブリックコメントで市民の意見を聞いて、計画策定を進めたい と思います。この計画が実りあるものになりますように、今後とも皆様の のご協力をお願いいたします。」

3 その他

<事務局より障がい福祉計画等表紙イラスト募集について説明>

<質疑・意見>

• 山本座長

「相川に設立されている女性対象としたグループホームの名前を募集されていると思いますので、すばらしいアイデアでもって楽しい居場所となるような名前を頂戴できればうれしいなと思います。」

・とき福祉会 雑賀常務理事

「窓口は、相川岩百合で受け付けています。私ども、以前、平成29年度に新穂地区にサンクスふじのという名前で男性対象のグループホームを運営しています。サンクスの名前を付けるにあたりましては、今後もサンクスを頭に付けていく。その後に何かいい名前があったら付けようと考えていますのでよろしくお願いします。」

・山本座長

「サンクスの名の由来をお聞かせください。」

・とき福祉会 雑賀常務理事

「名前の由来はありがとうという意味であります。また、ふじのにつきましては地名であります。」

他、意見無し。

<座長よりあいさつ>

<座長終了>

[事務局進行]

4. 閉会

備考